

GXリーグによるGXスキル標準の策定と今後の課題

- (1) 5月14日、わが国のグリーントランスフォーメーション（GX）に向けた産官学連携の枠組みであるGXリーグは、GX人材の育成を促すため、デジタル分野のITスキル標準やDXスキル標準などを参考に、GXに求められるスキルを体系化した「GXスキル標準」を公表（図表1）。
- (2) 組織全体の変革に向けて組織全員に求められる「GXリテラシー標準」と、戦略策定、研究開発、開示等に求められる「GX推進スキル標準」で構成され、GX推進スキル標準はGXアナリストなど4類型（図表2）。多くの企業でGXに向けた人材確保が課題となっており、スキルの体系化によって人材育成の効率化が期待できるほか、DX人材のように、GX人材の転職市場も広がる可能性。
- (3) 今後は、各社の取組事例などを踏まえたスキルのさらなる体系化、標準化に加えて、デジタル分野のように、スキルに応じた資格制度の充実も進めるべき（図表3）。また、環境省が2023年度に開始した脱炭素アドバイザー資格認定制度（注）との連携も重要。
- (4) もっとも、GXでは、温室効果ガス排出量計測や社内態勢整備、再エネ調達といった多くの企業で共通する対応がある一方、生産工程の脱炭素や脱炭素ビジネス創出などは、各産業、企業固有の対応も多く、体系化には限界があり、各企業独自の人材育成も不可欠。また、脱炭素社会の実現には、再エネの大規模導入や送配電網等のインフラ整備も必要であり、電気工事士や建設技能者等も多く必要。わが国は少子化によって働き手が減少する見通しであり（図表4）、政府には、脱炭素社会の実現に向けて、省力化の推進とともに、社会全体としての人材戦略が求められる。

(注) 同制度は、大嶋「[中小企業の気候変動対応に向けて脱炭素アドバイザー制度に求められる取り組み](#)」
日本総研ViewpointNo. 2023-007（2023年8月17日）参照。

(図表1) GXスキル標準の概要

分類	概要
GX推進スキル標準 Ver1.0	・GXを推進する人材が対象 ・プロフェッショナルとしての知識・技能を有し、課題の発見・設定、解決・実行を担う ・4つの人材類型、レベル1～4（レベル1はGXリテラシー標準相当）に整理し、求められるロール（役割）を定義 ・Ver1.0では、GXアナリストのロール「算定」とGXストラテジストのロール「削減計画」を定義 ・今後、他2類型及び各類型の新たなロールを定義予定
GXリテラシー標準 Ver1.0	・GXに関わるすべての人材が対象 ・GXの重要性を理解、基礎知識を有し、自分ごととして取り組む ・GXに関して身につけるべき知識と学習が期待される項目を定義

(資料) GXリーグ「GXスキル標準（GXSS）」等を基に日本総研作成

(図表2) GX推進スキル標準における4つの人材類型

	GXアナリスト	GXストラテジスト	GXインベーター	GXコミュニケーター
概要	組織の各種状況について、目標設定や指標の算定、分析等を行う	環境・経済の両面から指標を分析し、事業計画の立案等を行う	環境・経済の両面を推進するビジネス・技術の開発等を行う	各ステークホルダーとの対話・交渉を通じて自社計画の実現を推進する
主な ロール	・温室効果ガス排出量算定 ・新たな環境指標の算定への対応	・排出削減計画 ・経営企画 ・事業企画	・事業開発 ・商品開発 ・技術開発	・IR/広報 ・オペレーション ・調達 ・営業/渉外

(資料) GXリーグ「GXスキル標準（GXSS）」等を基に日本総研作成

Ver1.0では詳細は未定義

【ご照会先】調査部 主任研究員 大嶋 秀雄（oshima.hideo.j2@jri.co.jp , 090-9109-8910）

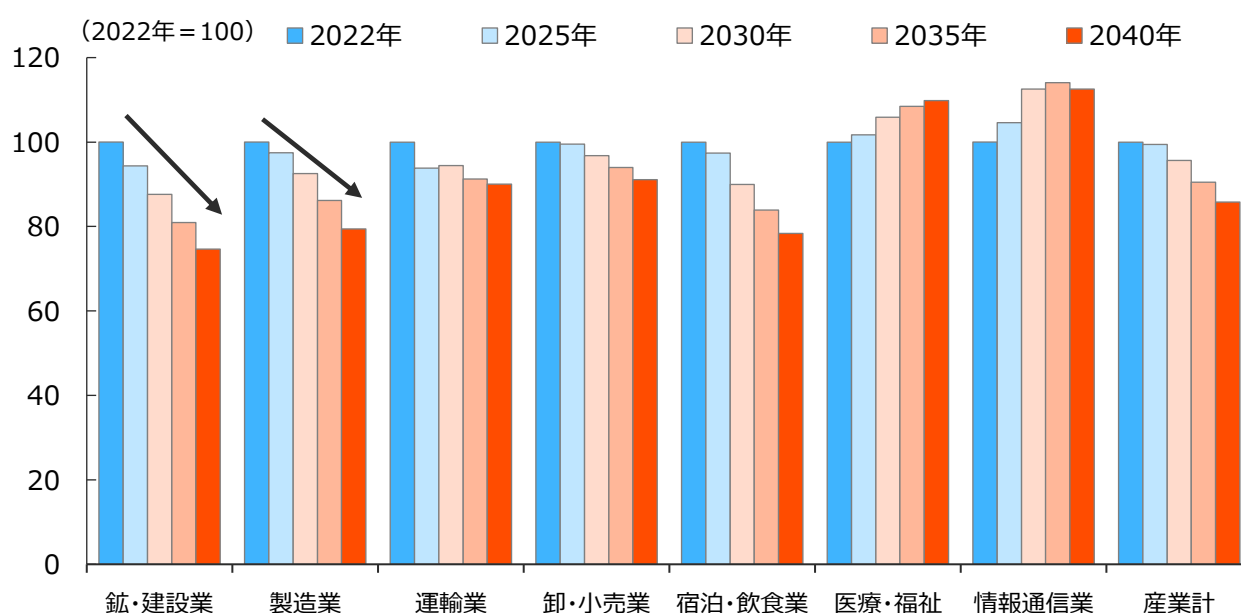
本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがあります。本資料の情報に基づき起因してご閲覧者様及び第三者に損害が発生したとしても執筆、執筆にあたっての取材先及び弊社は一切責任を負わないものとします。

(図表3) ITスキル標準と資格制度

レベル				職種	試験等
高度IT人材	スーパーハイ	7	世界で通用するプレーヤー	-	(業務経験等)
		6	国内ハイエンドプレーヤー	-	
		5	企業内ハイエンドプレーヤー	-	
	ハイ	4	高度な知識・技能	マーケティング	ITストラテジスト試験
				セールス	
				コンサルタント	
				ITアーキテクト	システムアーキテクト試験等
				アプリケーションスペシャリスト	システムアーキテクト試験
				ソフトウェアデベロップメント	
				プロジェクトマネジメント	プロジェクトマネージャ試験
				ITスペシャリスト	ネットワークスペシャリスト試験 データベーススペシャリスト試験 情報セキュリティスペシャリスト試験
				カスタマサービス	ITサービスマネージャ試験
				ITサービスマネジメント	
ミドル		3	応用的知識・技能	-	応用情報技術者試験
		2	基礎的知識・技能	-	基本情報技術者試験
エントリ		1	最低限求められる基礎知識	-	ITパスポート

(資料) 情報処理推進機構「ITスキル標準V3」を基に日本総研作成

(図表4) 産業別就業者数の将来推計 (一部産業抜粋)



(資料) 労働政策研究・研修機構「2023 年度版 労働力需給の推計 (速報)」

(注) 1人あたり実質経済成長率がゼロ、労働参加率が横ばいのシナリオ。

【ご照会先】調査部 主任研究員 大嶋 秀雄 (oshima.hideo.j2@jri.co.jp, 090-9109-8910)

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがあります。本資料の情報に基づき起因してご閲覧者様及び第三者に損害が発生したとしても執筆者、執筆にあたっての取材先及び弊社は一切責任を負わないものとします。